

# 二の丸EXの手動バックアップ手順

作成したデータを失わないために、手動でバックアップを取ることが出来ます。

## 操作手順

バックアップデータの保存先となるフォルダを作成します。

( フォルダ名や作成場所は任意ですが、二の丸EXのデータベースが入っているパソコンやサーバーとは別の場所に作成する事をお勧めいたします。 )

二の丸EXを起動して画面上部の【随時処理(A)】ボタンから  
【データ保存・復元】を選択します。

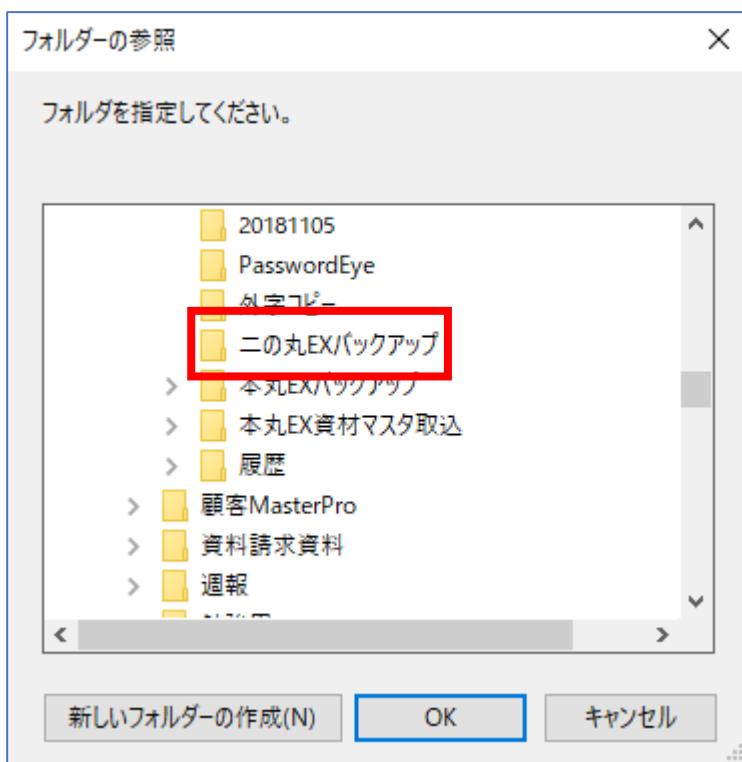


処理は【保存】にチェック、データベースは全てにチェックが入っている事を確認します。



## 二の丸EXの手動バックアップ手順

データ保存先フォルダは〔参照〕ボタンをクリックして、  
で作成したフォルダ  
を指定します。



## 二の丸EXの手動バックアップ手順

データ保存先フォルダに【 で指定した保存先】が表示されます。



画面左上の【 F12 実行】ボタンを押します。

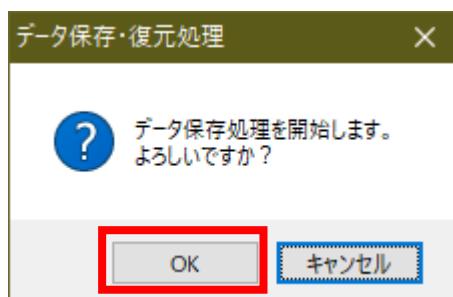


## 二の丸EXの手動バックアップ手順

データ保存処理の開始を告げるメッセージが表示されます。

[OK] ボタンを押します。

(データ量が多くなるほど、処理時間は長くなります。)



処理が終了すると完了を告げるメッセージが表示されます。

[OK] ボタンを押します。



[F11閉じる] ボタンを押して操作を終了します。



選択	DB名称	テーブル名称	データ件数	進捗状況
<input checked="" type="checkbox"/>	内堀	オプション管理マスター	2	0%
<input checked="" type="checkbox"/>	内堀	システム設定ファイル	2	0%
<input checked="" type="checkbox"/>	内堀	データ連携テーブル	0	0%
<input checked="" type="checkbox"/>	内堀	管理マスター	4	0%

## 二の丸EXの手動バックアップ手順

### 保存したデータの確認

エクスプローラーなどからデータ保存先を確認すると、バックアップデータが入ったフォルダ\*が出来上がっています。

\* フォルダ名は『年月日\_時間』で作成されています。

( 下の画像を例にすれば、2020年12月16日の18時10分11秒に保存したデータという事になります。 )



なお、2回目以降の保存データは上書きではなく、『年月日\_時間』別のフォルダが保存先に出来上がります。